



アクティブ福祉のマスコットキャラクター
アクティブル(作者:高橋昌子さん)です。

第6回

高齢者福祉研究大会

アクティブ福祉 in 東京'11



— 開催要綱 —

日々の介護現場での取組み・実践、施設、個人、グループでの
研究成果などを発表する学会形式の研究大会です。

ポスターセッションも行います。

とき

平成23年 **9月28日** (水) 9:20~17:00

ところ

京王プラザホテル

シンポジウム

今あるいのちに感謝

～ともに生き、ともに学ぶ
東日本大震災の経験をもとに～

シンポジスト

- シンポジスト 戸田 公明 氏 (特別養護老人ホームさつき荘 介護職員)
- 藤本 豊 氏 (東京都立中部総合精神保健福祉センター 特命担当科長 (臨床心理士))
- 小野ともみ 氏 (高齢者福祉施設 宮城野の里 施設長・理事長)
- コーディネーター 山崎美貴子 氏 (東京ボランティア・市民活動センター 所長)

時間

15:35~17:00

会場

エミネンスホール

主催

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 高齢者施設福祉部会 センター部会
「アクティブ福祉 in 東京'11」(高齢者福祉研究大会) 実行委員会

後援

東京都
日本社会福祉士養成校協会関東甲信越ブロック
社団法人 東京社会福祉士会
特定非営利活動法人 東京都介護福祉士会

社団法人 日本介護福祉士養成施設協会東京都
全国老人保健施設協会 東京都支部
東京都地域密着型サービス事業者連絡協議会
特定非営利活動法人 東京都介護支援専門員研究協議会

第6回 高齢者福祉研究大会

「アクティブ福祉 in 東京 '11」 開催要綱

1 趣 旨

日頃の介護現場での取り組みや実践、施設全体での研究や個人・グループによる研究などなど、小さな発見から大きな実践まで施設での様々な取り組みを発表する場として、今年度も引き続き、第6回高齢者福祉研究大会「アクティブ福祉 in 東京 '11」を開催致します。高齢者施設福祉部会、センター部会のふたつの部会は、この研究大会をとおして都内高齢者福祉施設の職員が元気に働きつづけることを支援したいと考えています。

学会形式を取り入れた新しいタイプの研究大会です。自分の興味ある実践報告や研究発表について、分科会場を自由に往き来して聴いてください。きっといい意味の「刺激」が生まれると思います。疑問に思ったことは発表者にどんどん質問してください。日頃、話す機会が少ない他施設の職員との「交流」のきっかけになるかもしれません。これなら自分の施設でも取組めそうだなという報告や発表がありましたら、持ちかえて自分の施設で提案したり実践してみてください。あなたの職場の「活性化」につながるかもしれません。

「刺激」を受けることで「交流」が始まり、交流を通して自分自身や職場が「活性化」する。この両部会あがての研究大会は、そんなプラスのサイクルづくりを目指しています。みなさんのアクティブな参加をお待ちしています。

2 日 程 平成23年9月28日(水) 9:20～17:00 (受付は8:15～)

3 会 場 京王プラザホテル
東京都新宿区西新宿2-2-1 TEL 03-3344-0111 【会場案内図参照】

4 参加対象 ① 高齢者福祉に関心のある方
② 高齢者福祉の仕事に関心のある学生（介護福祉士、社会福祉士等の養成校の学生など）
③ 都内高齢者福祉施設等の利用者、家族、ボランティアなど
④ 高齢者施設福祉部会・センター部会 会員施設の職員

5 定 員 1,400名程度

6 プログラム 別掲のとおり（研究発表は一覧をご覧ください）

7 参加費 6,000円（学生は無料・当日学生証をお持ちください）
※介護福祉士等の養成校の通信課程を受講している方も学生に含めます

8 お 弁 当 希望者にお弁当（1人1,000円（税込））をご用意致します。注文される方は申込書にご記入ください。参加券と一緒に「弁当引換券」をお送り致します。完全予約制です。ホテル内の会場で11時10分～12時40分の時間に召し上がって頂きます。

※注文されたお弁当以外の飲食は会場内ではできませんので、ホテル内レストランまたは周辺の飲食店をご利用ください。

9 申込方法

別紙「参加申込書」に必要事項を記入し、**平成23年9月5日(月)**までに郵送またはFAXにてお申込みください。申込書は東京都社会福祉協議会ホームページ(下記参照)からもダウンロードできます。

※研究発表の申込者も、発表申込みとは別に大会参加申込みが必要です。
必ずお申込み手続きをしていただきますようお願いいたします。

東京都社会福祉協議会 高齢者施設福祉部会 ホームページ
<http://www.tcsw.tvac.or.jp/php/kourei/Kourei.php>

10 申込先

株式会社ヒップ アクティブ福祉 in 東京 '11係 (担当/新田・金子)
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-26-5-608
TEL 03-3370-2411 FAX 03-3370-2017

11 参加費のお振込、参加券について

参加申込みの内容を確認後、参加券および請求書(郵便振込取扱票)をお送りいたします。同封する振込取扱票にて参加費をお振込ください。

12 主催

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 高齢者施設福祉部会・センター部会
「アクティブ福祉 in 東京 '11」実行委員会

13 後援

東京都
日本社会福祉士養成校協会関東甲信越ブロック
社団法人 東京社会福祉士会
特定非営利活動法人 東京都介護福祉士会

社団法人 日本介護福祉士養成施設協会東京部会
全国老人保健施設協会 東京都支部
東京都地域密着型サービス事業者連絡協議会
特定非営利活動法人 東京都介護支援専門員研究協議会

14 福祉保健局長賞について

各テーマにおける最も優秀な研究発表に対して、東京都福祉保健局長賞を贈呈いたします。賞の授与式及び再発表は、後日実施する予定です。

15 個人情報保護について

「参加申込書」に記載された個人情報は本大会の運営管理のみに使用いたします。本研究大会の参加申込みに関しては、個人情報保護に関する取扱いに係る契約を「株式会社ヒップ」と交わした上で、参加とりまとめを委託しています。

16 お問い合わせ先

<研究発表の内容に関すること>

東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当
「アクティブ福祉 in 東京 '11係」
TEL 03-3268-7172 FAX 03-3268-0635
Email kourei@tcsw.tvac.or.jp

<参加申込みに関すること>

株式会社ヒップ アクティブ福祉 in 東京 '11係 (担当/新田・金子)
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-26-5-608
TEL 03-3370-2411 FAX 03-3370-2017

※参加申込みに関するお問合せは、月曜日～金曜日(祝日除く)の午前10時～午後5時までの間となります。

	第1会場/花A		第2会場/花B		第3会場/花C		第4会場/花D		第5会場/錦	
	認知症ケア		食事・栄養・口腔ケア		ケアの質の向上① (個別・ユニットケア)		レクリエーション・アクティビティ		ケアの質の向上② (個別・ユニットケア)	
	所属・職名・氏名	題名	所属・職名・氏名	題名	所属・職名・氏名	題名	所属・職名・氏名	題名	所属・職名・氏名	題名
9:20	<オリエンテーション>									
① 9:30	デイホーム上馬 石崎 三郎	認知症改善を目指した「学習療法」への取り組み	いずみえん 瀬尾 健太	経口維持加算導入で改善した摂食嚥下機能	新宿けやき園 小林 麻那美	利用者からの「ありがとう、気持ちいい、嬉しい、足が軽くなった」	浴風会松風園 池野上 昇	身体機能の維持向上に対する介護予防運動の取り組みとその効果について	はなみずきホーム 大川 絵理	全員で取り組む尿測キャンペーン
② 9:50	西水元 あやめ園 杉浦 美香	認知症高齢者に対する歩数計の活用とその効果に関する研究	塩浜ホーム 小松 直樹	口腔機能の維持・向上への取り組みについて	デイサービスセンター 西が丘園 東滝 薫	生活を止めないケアの実践	和田堀ホーム 菊地 恵美	自分らしい生活を支えるリクリエーション実現への取り組み	大洋園 井上 峰奈	スライドボード・スライドシートを活用し抱えないトランスについての取り組み
③ 10:10	上荻 ふれあいの家 瀬川 照英	環境作りから始まった園芸療法の効果	三ノ輪(1) 清木 智恵子	ひとりひとりの摂食・嚥下機能に合わせた食事の提供	葛飾 やすらぎの郷 金子 亜美	「焼きそば大好き!!」	偕楽園ホーム 廣田 貴弘	集団リハビリを通して園内社会参加を目指す	一番町 特別養護 老人ホーム 泉澤 直人	意思表示の困難な寝たきりの方や看取り介護の方に対するタクティールケアによる心身の効果について
④ 10:30	久我山園(2) 諏訪 葉子	ショートステイ利用中の役割獲得による認知症周辺症状の緩和効果について	サンホーム 大塚 千尋	楽しめる食の提供	南陽園 中村 靖	従来型施設における個別ケアの充実に向けた取り組みによる利用者の変化に関する研究	至誠柏地域 福祉サービスセンター 木原 和恵	小グループ活動の取り組み	多摩の里 むさしの園 宮本 義輝	人間らしい排泄ケアとは
⑤ 10:50	第2 サンシャインビル 福島 由美	被災地から受け入れた若年性認知症の利用者への在宅復帰を視野に入れた取り組みとその効果	第三南陽園 野中 洵	口腔ケアの意識向上に向けて	光陽苑 末岡 申次	入居者の外出を通して見えてきたもの	塩船園 佐藤 未来	関節の変形拘縮が悪化した利用者への日常的なリハビリ	フレンズ ホーム 渡邊 久子	個浴から始まる自立支援～機械浴ゼロを目指す
11:10 12:40	<休憩>									
	<オリエンテーション>									
⑥ 12:50	かみさぎホーム 藤本 和夫	園芸療法の個別実践報告	フジホーム 村山 恵美	恐怖の食事介助～やめる勇気、止める勇気～	けんちの里 城間 直実・ 根井路 明博	お客様の笑顔を引き出す「私の時間」	高砂園 中荻 節子	元気いっぱい体操!	認知症対応型 通所介護 江戸川光照苑 尾崎 順子	帰宅希望の利用者に対するタクティールケアの効果
⑦ 13:10	あさひ苑高齢者 在宅サービス センター 木村 友喜子	認知症対応型通所介護における個別ケアへの取り組み	羽村園 栗原 典子	食事と口腔ケアによる「楽しみ」、「健康」を目指して	第二光陽苑 佐野 明日香	「個別ケア」充実への第一歩	千住桜花苑 寺田 恵子	理学療法士の奮闘記	しらすぎ ホーム(2) 倉林 良平	個別の排泄介助を推進することで見えてきた連携の大切さ
⑧ 13:30	和光園 八木澤 泰仁	楽しみでもあり、健康の基本でもある食事時間の工夫により、利用者の生活の質の向上に繋げる	御岳園 関谷 真由美	食事は美味しく楽しく	足立新生苑 中村 信也・ 永井 智明	18ユニットで頑張る個別排泄先!	緑寿園 ケアセンター 武井 摩有子・ 関 美和子	「ようこそ! 絵画療法へ」～あなたが主人公～	三ノ輪(3) 脇山 宏美	入浴の工夫で生活に潤いの時間を作る
⑨ 13:50	菊かおる園 宇井 美佐子	従来型施設で理想とするユニット的ケアをめざして	シオンとしま 早川 健太	経口摂取維持に向けた取り組み	西が丘園 佐藤 昌俊	個人の状態観察に基づく生活改善ケアの実践	文京くすのき デイサービス センター 蔵野 秀文	サービスセンターにおける個別リハビリテーション	デイサービス センター ハピネスあだち 酒井 昌人	願いをあきらめない。初体験の感動で活気向上!
14:10	<休憩>									
⑩ 14:20	芦花ホーム 那須 康樹	特養ホームにおける健口体操の効果について	万寿園 瀬下 志麻・ 佐野 泰代	歯磨き習慣ゼロからの出発	スキルアップ 研修会 Aグループ 西山 直輝	不作為不適切ケア撲滅キャンペーン、始動	ゆとりえ デイサービス センター 大田 節子	参加者全員が満足できる創作活動の工夫	ハピネス あだち 遠藤 大知	職員が安心して働ける施設を目指して
⑪ 14:40	マイライフ徳丸 大久保 陽子	みんなで支える経口摂取	ひらお苑 小川 新一郎 他	自ら主体となって現状の問題改善に取り組んで	フェロー ホームズ 原崎 望	「ハード」の壁は、「ハード」で乗り越えます!	短期入所生活 介護事業所 伊興園 大山 竜二・ 高野 加奈江	満足度の高い利用者本位のショートステイへの取り組み	吉祥寺 ナーシング ホーム 平林 基	排泄に対する職員意識改革
⑫ 15:00	<撤収>									

第6会場/扇		第7会場/コンコードA		第8会場/コンコードB		第9会場/コンコードC		第10会場/エミネンス		
リスクマネジメント・経営		人材育成		医療ケア・相談援助・ケアプラン		地域ケア・居宅・ソーシャルワーク		その他		
所属・職名・氏名	題名	所属・職名・氏名	題名	所属・職名・氏名	題名	所属・職名・氏名	題名	所属・職名・氏名	題名	
9:20 <オリエンテーション>										
① 9:30	中川園 飛田野 真隆	ご利用者様のキズ、アザをゼロへ！キズアザ・ゼロ計画	第二八丈老人ホーム(2) 下条 祐二	良いケアが自然に出来るようになるまでのキセキ	青陽園 布川 恵子	緑茶洗浄への取り組み	至誠 和光ホーム 菊島 由美子	軽費老人ホームでの防災・入居者同士の助け合いを育てる自治活動の取り組み	こもね介護計画センター 岡田 晶子	ターミナルケアで残された想いをみんなでかえよう
② 9:50	借楽荘 大上 尚子	24時間、外出時でも安心な緊急カードに関する研究	聖母ホーム 古林 尚幸	高齢者福祉施設職員に対するメンタルヘルスケアの取り組みと効果	第二八丈老人ホーム 笹本 真奈美	褥瘡の部位・発生原因に着目した褥瘡改善対策アプローチの紹介	桜堤 ケアハウス 井口 大也	調理職員という役割からの地域貢献と施設内連携	居宅介護支援事業所 つきみの 佐藤 裕史	利用者の一般デイから認知デイへの移行をめくって
③ 10:10	フェローホームズ・くにた5苑・サンシャインホーム 関口 香織・山本 節子・吉岡 未来	食中毒発生時の食事提供の協定	ゆたか苑 申 性卓	ご利用者に負担のかからない移乗介助の実践について	こもね 在宅サービスセンター 清水 のり子	デイサービスにおけるターミナルケアとそこの看護師の役割を考える	デイホーム 芦花 谷 義幸	健口体操と機能訓練を実施することによる可能性	ケアマネジメントセンター六月 美山 陽子	東日本大震災～その後の利用者様の日々～
④ 10:30	しらすぎホーム(1) 前田 祐仁子	褥瘡発生率ゼロに向けた多職種連携による取り組み	九十九園 竹下 小百合	Wポジティブな視点を取り入れた新任職員育成の実践について	弘済園 佐々木 裕子	弘済園における「終末期の看取り介護」への取り組みについて	みのわ高齢者 在宅サービスセンター 手塚 収	新たな音楽プログラムへの取り組み(第3章完結編)	京畿道 老人福祉施設 連合会 キムウンジュ	京畿道老人自殺予防事業の推進方案
⑤ 10:50	三ノ輪(2) 勝又 理絵子	事故を無くすために取り組んだ新しいカンファレンスの形と効果について	ゆとりえ 古路木 智	排泄介助から始まった業務改善が時間を生み出す。段階的試行と実施。その効果	久我山園(1) 上村 美智留	看取り開始のトリガーポイントについて	借生園 笹山 圭太	利用者と偲に生きるPart II「心が動く介護予防」の取り組み		
11:10 <休憩>										
12:40 <オリエンテーション>										
⑥ 12:50	富士見台 特別養護 老人ホーム 佐々木 智孝	お客様と職員の双方にとって安全で安心な介護を目指して	清風園 長島 淳子	～シルバー人材？…いえいえ、私たちはプラチナ人材です！！～	多摩の里 けやき園 鈴木 友梨	爪切りが利用者 と職員を 変える	高齢者在宅 サービス センター 東池袋豊寿園 中田 智子	私たちは「足」で、地域の声を聴きました！		
⑦ 13:10	江戸川光照苑 阿部 正人	高齢者福祉施設における情報セキュリティの必要性と意義	こぐれの里 宇田川 将範	「究極のサービス業」、そのプロを育てる	練馬高松園 長瀬 一幸	改善の 見られた むせ込み の症例	マイホーム はるみ 渡邊 ちひろ・ 松本 沙織・ 清水 香菜	地域での会食事業の意義と取り組み		
⑧ 13:30	博水の郷 番本 鷹也	記録の電子化に関する研究	ケアポート板橋 長谷川 さおり	介護現場における腰の負担軽減	スキルアップ 研修会 Cグループ 川村 和佳	ストレングス モデルを 活用した 利用者 と職員 の相互 関係の 変化 について	ハビネス あだち(1) 安田 雅俊	家族とつくるハビネスあだち夏祭り		
⑨ 13:50	スキルアップ 研修会 Dグループ 平本 穰	ご家族と施設がより強固なパートナーシップを構築するための研究	台東 中村 奈津季	サービスマナー奮闘記	日の出ホーム 森谷 陽一	褥瘡予防、自立支援を目的としたシーティングの取り組み	高齢者 在宅 サービス センター マイホーム はるみ 伊野 友行・ 高橋 紫	入浴サービス稼働率向上への取り組み		
14:10 <休憩>										
⑩ 14:20	あさひ苑 米川 香奈	フロア床・洗面台修繕への取り組みと利用者の居場所作りについて	あゆみえん 井戸沼 三和子	リーダー業務に慣れない職員に対するサポート作り	上北沢ホーム 笠原 吉郎	見つけた！自分たちの介護スタンダード	ひかり苑 谷口 博昭・ 長谷川 美加	新しいサービスマナーの創造による意識改革		
⑪ 14:40	清風園 (短期入所生活介護) (2) 齋藤 将	特別養護老人ホーム併設型短期入所生活介護利用率アップの取り組み	グリーンハイム 荒川 幸奈 東海林 幸奈	フロア勉強会の学びを職員全員でケアに生かしてみよう！！	うきま幸朋苑 短期入所生活介護 川崎 初美	シエーマ図のショートステイでの活用	スキルアップ 研修会 Bグループ 山中 大輔	あなたを伝える紹介状 私たちが伝えます。あなたの軌跡を…！		
⑫ 15:00	<撤収>		原町ホーム 小林 あゆみ	利用者にとって快適で主体性を引き出す移乗を目指して	フローラ 石神井公園 藤原 功治・ 高橋 秀幸	インフルエンザ感染ゼロ！5年間の取り組み	<撤収>			
15:20 <撤収>										

プログラム

日 程 表

	8:15	9:20	9:30	9:50	10:10	10:30	10:50	11:10	12:40	12:50	13:10	13:30	13:50	14:10	14:20	14:40	15:00	15:20	15:30	15:35	15:45	16:55	17:00	
研究発表 (10会場)		オリエンテーション	研究発表①	研究発表②	研究発表③	研究発表④	研究発表⑤	休憩	オリエンテーション	研究発表⑥	研究発表⑦	研究発表⑧	研究発表⑨	休憩	研究発表⑩	研究発表⑪	研究発表⑫	(撤回)						
福祉職場の 情報コーナー		(準備)	福祉職場の情報コーナー 高齢者福祉施設(法人)のパンフレット等を配架しています。ご自由にお取りいただけます。																	(撤回)				
福祉機器等 展示コーナー		(準備)	福祉機器等展示コーナー 研究発表会場の前等で福祉機器等の展示を行っております。ご自由にご覧いただけます。																	(撤回)				
ポスター セッション		(準備)	ポスターセッション 取組み内容をポスターにまとめたものを掲示します。ご自由にご覧いただけます。																					
シンポジウム																						開会 (挨拶)	シンポジウム	閉会

シンポジウム

[15:35~17:00] エミネンスホール

○テーマ 「今あるいのちに感謝

～ともに生き、ともに学ぶ 東日本大震災の経験をもとに～

○シンポジスト 戸田 公明 氏 (特別養護老人ホームさつき荘 介護職員)

藤本 豊 氏 (東京都立中部総合精神保健福祉センター 特命担当科長(臨床心理士))

小野ともみ 氏 (高齢者福祉施設 宮城野の里 施設長・理事長)

○コーディネーター

山崎美貴子 氏 (東京ボランティア・市民活動センター 所長)

ポスターセッション

[9:20~17:00] エミネンスホール前

発表者名	発表テーマ	発表者名	発表テーマ
ケアハウス六月 山口 セツ子	活き粋き体操	ゆたか苑 スミス マリアンヌ	寄り添う介護とタクティールケア
白十字ホーム 菅原 まり子	白十字ホームと小学校との交流 「里孫活動」を通じて	原町ホーム 小林 あゆみ	認知症周辺症状に対するティマレーション ～ハプティックセラピーを通して～
泰山 袴田 マキ子	特養における、ランチルーム(逆デイサービス)活用による利用者様の自立支援の在り方	癒しの里亀有 平井 真由美	食事イベントの充実
泰山 谷田川 タエ子	特別養護老人ホームにおける医療 サポートの在り方	ケアハウスいわもと 藤井 貴子	介護予防を通じて、住み慣れた町で 安心して生活できる仕組みづくり
浮間さくら荘地域包括支援センター 関口 久子	ボランティアの人材育成 ～地域ネットワークの構築～	センター部会 デイサービス支援効果研究委員会	デイサービス支援効果研究委員会 の取り組み

福祉機器展示コーナー・福祉職場の情報コーナー

研究発表のプログラムに並行して、福祉機器等の業者による展示や高齢者福祉施設(法人)のパンフレット等を配架した福祉職場の情報コーナー(相談コーナーはありません)、福祉関係書籍等の販売コーナーを設置します。ご自由にご覧いただけます。

参加申込の方法のご案内

施設職員のお申し込み方法（高齢者施設福祉部会・センター部会 会員施設等）

- ① 開催要項に添付の「参加申込書」に必要事項をご記入いただき、施設（センター）単位で一括してお申し込みください。

※申込書は、下記の東京都社会福祉協議会 高齢者施設福祉部会ホームページからもダウンロードできます。

<http://www.tcsw.tvac.or.jp/php/kourei/Kourei.php>

このページから「新着情報」をご覧ください。関係資料等を掲載しています。

- ② 参加申込の締め切りは、平成23年9月5日（月）です。FAXまたは郵送で「株式会社ヒップ アクティブ福祉 in 東京 '11係」宛にお申し込みください。
- ③ お申し込み締め切り後の参加の取り消し、研究大会当日の欠席の場合、参加費・弁当代の返金はいたしません。ご注意ください。
ただし、研究大会終了後に、「東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当（アクティブ福祉 in 東京 '11係）」宛に「参加券」をお送りいただければ、研究大会資料をお送りさせていただきます。
- ④ 参加のお申し込みの際、必ず申込書の控えをお取りください。参加申込後の変更・取り消しの際は、「参加申込書」の原本（写）に上書きしたものをFAXまたは郵送でお送りください（電話での変更・取り消しはお受けできませんのでご了承ください）。
- ⑤ 参加券、請求書（郵便振込取扱票）、弁当引換券をお申し込みの施設・センターごと一括して9月12日頃に送付させていただきます。
- ⑥ 参加費のお振込みについては、参加券に同封の振込取扱票をご使用ください。なお、領収書につきましては、お振込みの控えをもって代えさせていただきますことご了承ください。
また、参加費の振込手数料は、恐縮ですが申込者（各施設・センター）にてご負担いただきますようお願い申し上げます。

学生のお申し込み方法

- ① 学生の皆さんの参加費は「無料」です（お弁当は1人1,000円）。個人でお申し込みの場合は、開催要項に添付の「参加申込書」に必要事項をご記入いただきお申し込みください。（当日、学生証をお持ちください。）
- ② 学校単位（クラス単位でも結構です）でまとめてお申込みいただける場合は、付き添いいただく教員等の参加費も無料とさせていただきます。

※申込書は、下記の東京都社会福祉協議会 高齢者施設福祉部会ホームページからもダウンロードできます。

<http://www.tcsw.tvac.or.jp/php/kourei/Kourei.php>

このページから「新着情報」をご覧ください。関係資料等を掲載しています。

- ③ 参加申込の締め切りは、平成23年9月5日（月）です。FAXまたは郵送で「株式会社 ヒップ アクティブ福祉 in 東京 '11係」宛にお申し込みください。
- ④ お申し込み締め切り後の参加の取り消し、研究大会当日の欠席の場合、研究大会終了後に、「東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当（アクティブ福祉 in 東京 '11係）」宛に「参加券」をお送りいただければ、研究大会資料をお送りさせていただきます。
- ⑤ 参加のお申し込みの際、必ず申込書の控えをお取りください。参加申込後の変更・取り消しの際は、「参加申込書」の原本（写）に上書きしたものをFAXまたは郵送でお送りください（電話での変更・取り消しはお受けできませんのでご了承ください）。
- ⑥ 学校単位（クラス単位でも可）でまとめてお申込みいただいた場合は、学校ごと一括して9月12日頃に「参加券」「弁当引換券、請求書（郵便振込取扱票）」を送付いたします。

参加申込先

株式会社ヒップ アクティブ福祉 in 東京 '11係 (担当/新田・金子)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-26-5-608

参加申込に関すること

TEL 03-3370-2411 FAX 03-3370-2017

アクティブ福祉 in 東京 '11 事務局

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 (福祉部 高齢担当)

「アクティブ福祉 in 東京 '11係」

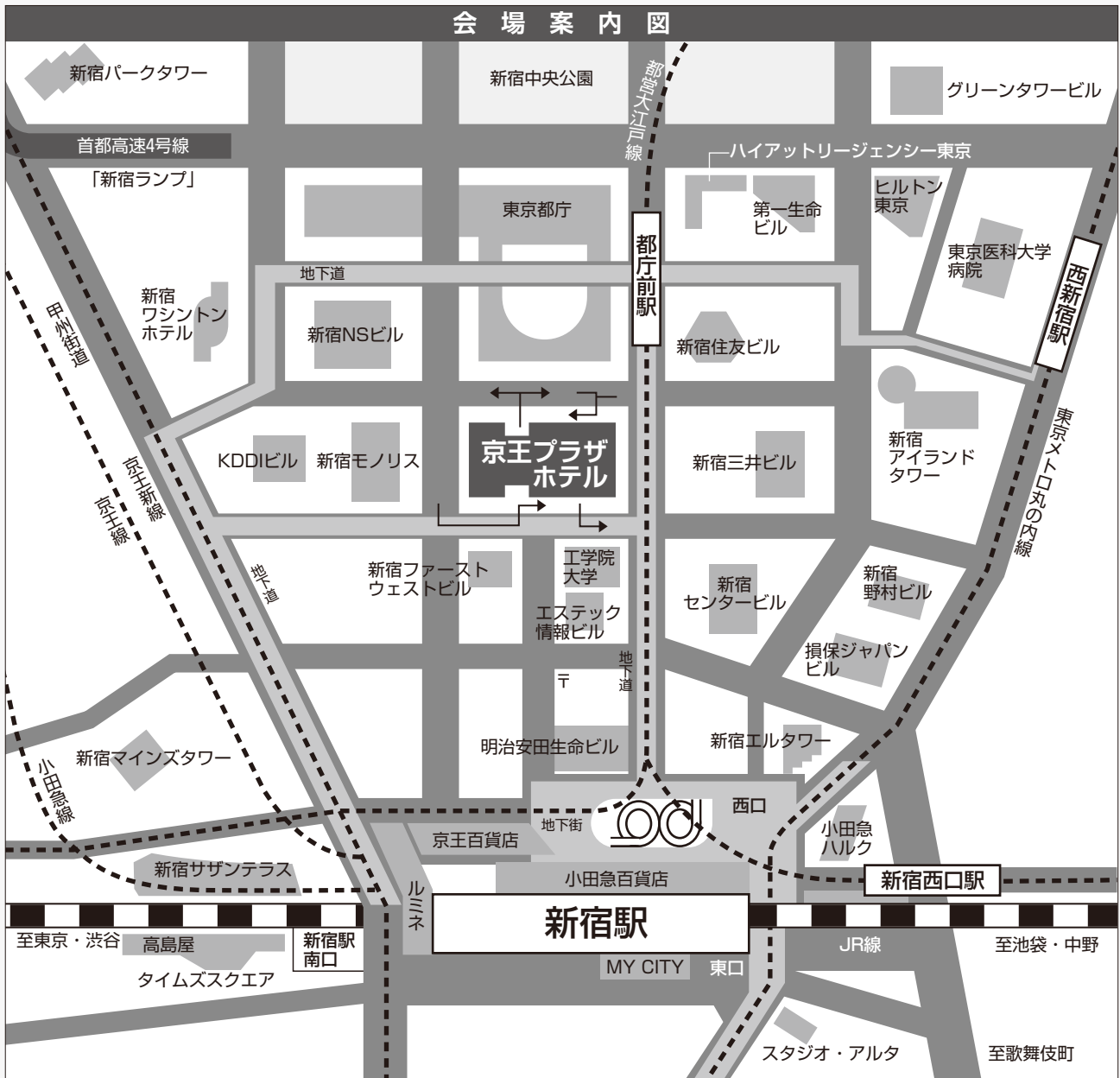
〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸1-1

研究大会の内容に
関すること

TEL 03-3268-7172 FAX 03-3268-0635

E-mail kourei@tcs.w.tvac.or.jp

会場案内図



交通案内

- ◆ JR新宿駅 西口 下車 徒歩5分
- ◆ 東京メトロ丸ノ内線、都営新宿線、京王線、小田急線 新宿駅 下車 徒歩5分
- ◆ 都営大江戸線 都庁前駅 (B1出口) すぐ